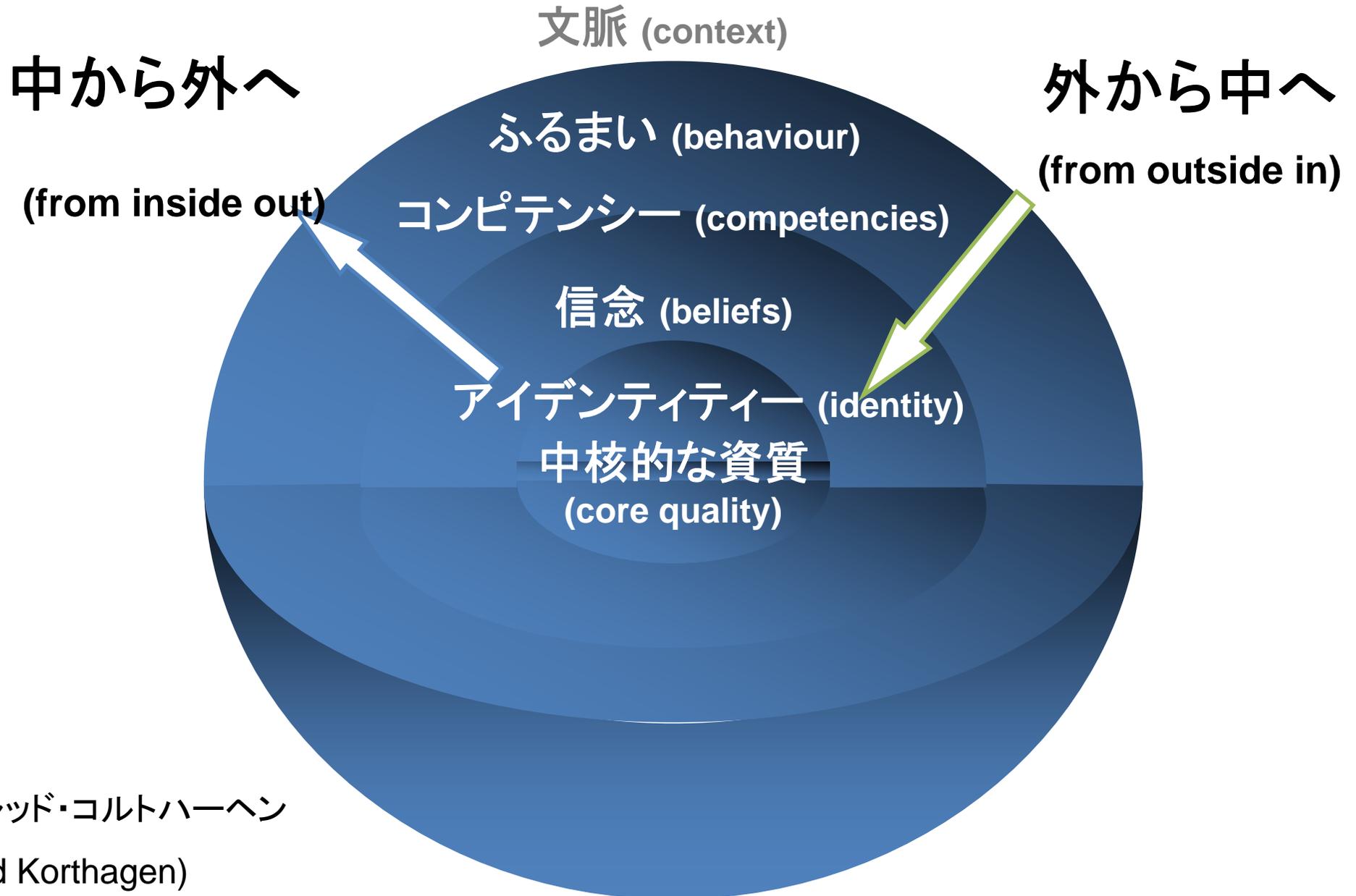


ワークショップ・デモ

実践と省察の中で
教師としての力量を育む

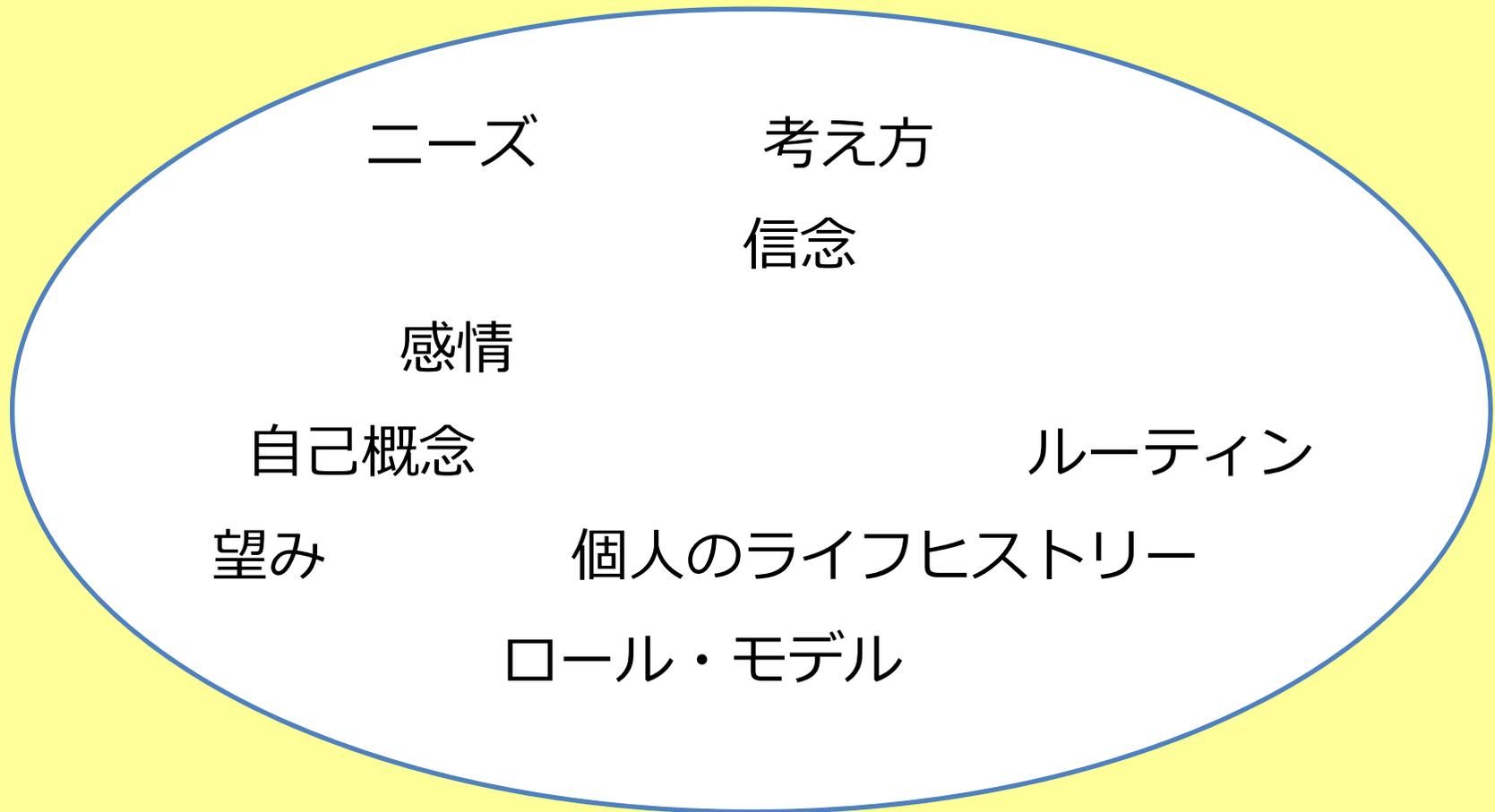


専門家としての発達



(フレッド・コルトハーゲン
Fred Korthagen)

ゲシュタルト



瞬時に対応すべき状況に置かれた際に引き起こされる
無意識的なすべて

実践をベースとした省察モデル

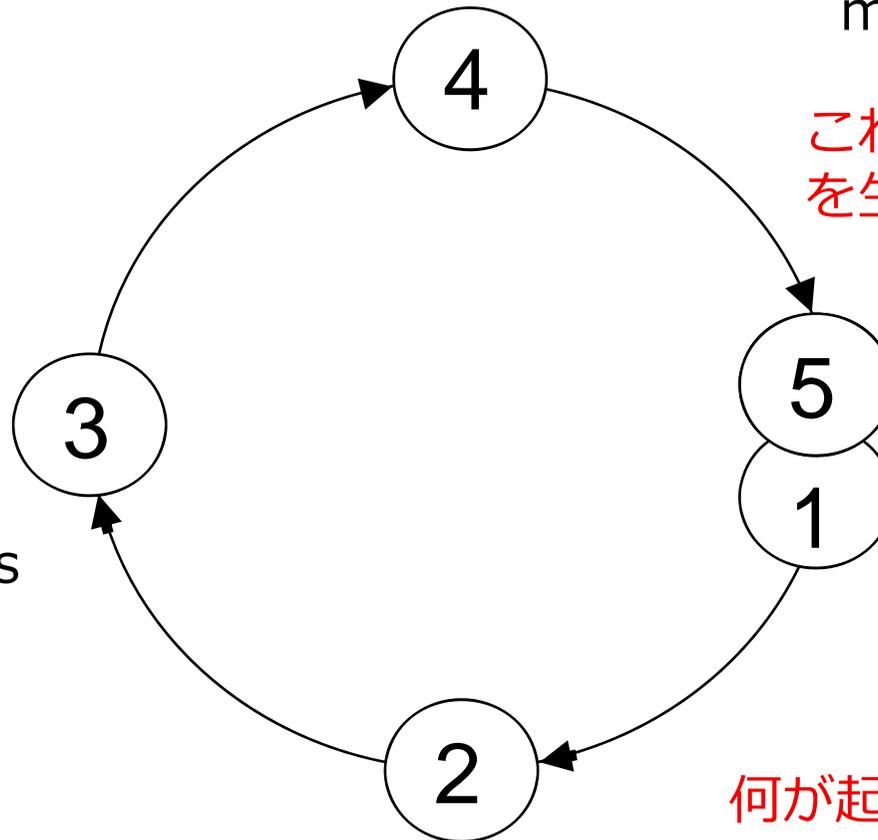
行為の選択肢の拡大

Creating alternative methods of action

重要な点はどこにあったのか？

これはどういう結果を生むだろうか？

本質的な諸相への気づき
Awareness of essential aspects



試行 Trial
行為 Action

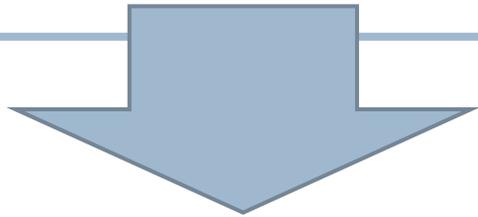
何が起きたのか？

行為の振り返り Looking back on the action



Korthagenのリフレクション概念（オランダ）

▶ 教師がすでにもつ先入観は
実践場面の考え方や行動
を規定している。



「経験」を学びの出発点とし、教
えることについての学びを構成
主義的な視点からとらえる

そこで・・・

1. 個人的な関心、不安や懸念
事項をもとに、自身の実習
を省察するよう、後押しす
る。
2. その際、体系立った構造
（ALACTモデル）に沿って
省察を行い、教師自身の内
側に省察サイクルの構築を
目指す。



第2局面において、具体化を促す問い

1. 私(あなた)は何を考えていたのか?	5. 子供(教師)は何を考えていたのか?
2. 私(あなた)はどう感じたのか?	6. 子供(教師)はどう感じたのか?
3. 私(あなた)は何をしたかったのか?	7. 子供(教師)は何をしたかったのか?
4. 私(あなた)は何をしたのか?	8. 子供(教師)は何をしたのか?

第2局面において、具体化を促す問い



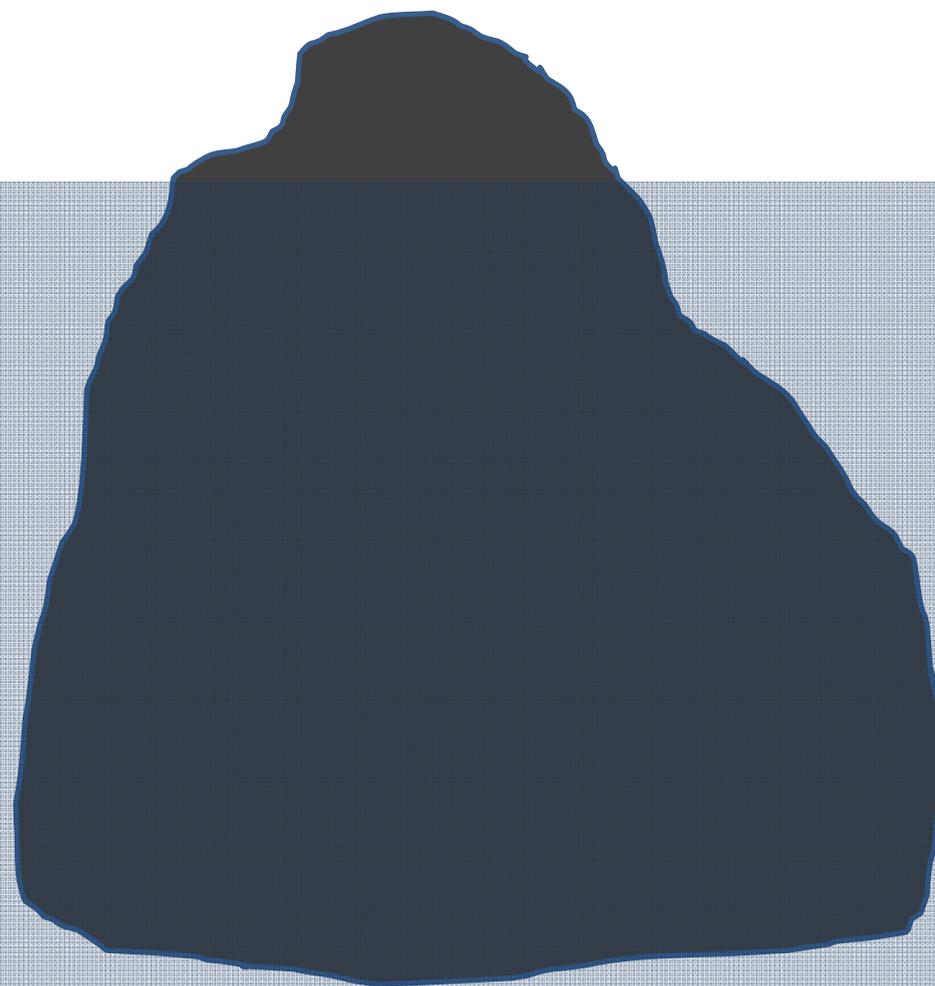
瞬間的授業行動 (Dolk, 1997)

すること

考えること

感じること

望むこと



冰山モデル

専門家としてのアイデンティティはその人の成長にも影響を与える(核心的省察)

- 省察は、環境、行動、能力に集中しがち
- 行動を中心とした省察から人はあまり学ばない
- 深い学びは深い省察による
- 人の能力は、その人が信じていること
- それは「アイデンティティ」の段階になる

